



Institute of Labor Education & Culture

通信No.29

2011年10月21日

編集・発行：社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：山本幸司専務理事

2011年度事業計画・予算を決定

—第17回通常総会を開催—

(社)教育文化協会(ILEC)は、2011年9月8日に総評会館で、第17回通常総会を開催し、2010年度事業報告および決算報告等を行った後、2011年度事業計画・予算について決定しました。

今年度は、公益法人認定にむけた作業を本格的に進める中で、中期的な事業のあり方および事業計画の方向性について審議し、公益法人としての当協会のこれからの事業を構想・展望する1年といたします。また、事業活動についても、これまでの基本的な方向性を引き継ぎながら、教育文化協会としてふさわしい事業の選択と集中をはかり、全体として、効率的かつ効果的な事業運営に努めて参ります。

(1) 教育事業

第11回Rengoアカデミー・マスターコースは、労働界の次代を担うリーダー育成の場として会員組織からの期待に応えられるよう、一層の参加しやすさと受講効果の向上をめざしつつ、引き続きプログラムの効果的編成と効率的な運営に努めます。あわせて、マスターコース開講10年を1つの節目として、記念シンポジウムを開催します。

また、連合当該局と共催で、「労働法講座(基礎コース)」と「女性リーダー養成講座(基礎コース、応用コース)」の企画・運営にも取り組みます。

連合寄付講座は、今年度も同志社大学と一橋大学、埼玉大学の3大学で開講します。なお、3年間の設置協定が終了する同志社大学とは新たに協定を結びます。地方版連合寄付講座の新規開設については、「連合寄付講座」全体の中期的な方向性を構想する中で、連合本部、地方ブロック連絡会と連携し、取り組んでいきたいと考えています。

(2) 文化、出版・広報の各事業

第7回連合・ILEC幸せさがし文化展は、2011年10月4-5日の第12回連合定期大会で入賞者の表彰を行い、あわせて、入賞作品を大会会場に展示しました。また、10月17-23日にNHKふれあいホールギャラリーにおいて、展覧会「幸せさがし文化展—つながろう日本」を行います。

第8回「—私の提言『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて—」は、同じく第12回連合定期大会にて、入賞者の表彰と提言要旨の発表を行いました。

広報については、新たにメールマガジンを発行し、当協会の事業について、広く知っていただけのように、情報発信をしていきます。



議事進行中の中村讓議長(日教組委員長・ILEC理事)

2011—2012年度 (社)教育文化協会 理事・監事・評議員・顧問一覧

(2011年9月8日現在、※は新任、それ以外は再任)

理事 24名

役職名	氏名	所属団体・役職	役職名	氏名	所属団体・役職、職業
理事長	岡部 謙治	教育文化協会 理事長	理事	加藤 友康	情報労連 委員長
副理事長	南雲 弘行	連合 事務局長	理事	八野 正一	サービス・流通連合 会長
専務理事	山本 幸司	連合 副事務局長	理事	種岡 成一	電力総連 会長
常任理事	長谷川 一博	教育文化協会 常任理事	理事	渡辺 幸一	私鉄総連 委員長
理事	島田 尚信	UIゼンセン同盟 副会長	理事	新田 豊作	NHK労連 顧問
理事	徳永 秀昭	自治労 委員長	理事	秋山 久美雄※	労金協会 常務理事
理事	西原 浩一郎	自動車総連 会長	理事	安久津 正幸※	全労済 常務執行役員
理事	有野 正治	電機連合 委員長	理事	堀江 湛	慶應義塾大学 名誉教授
理事	眞中 行雄※	JAM 会長	理事	高木 郁朗	山口福祉文化大学教授
理事	中村 讓	日教組 委員長	理事	秦野 幹夫	毎日新聞社 論説顧問
理事	神津 里季生	基幹労連 委員長	理事	若林 正人	エッセイスト
理事	白杵 博 ※	JP労組 委員長	理事	澤田 陽太郎	中央労働災害防止協会 前理事長

監事 3名

役職名	氏名	所属団体・役職	役職名	氏名	所属団体・役職
監事	根本 良作	連合 総合総務財政局長	監事	藤澤 洋二	海員組合 組合長
監事	永芳 栄始※	JEC連合 会長			

評議員 7名

役職名	氏名	所属団体・役職	役職名	氏名	所属団体・役職、職業
評議員	佐藤 正幸	生保労連 委員長	評議員	久保田 泰雄	連合総研 専務理事
評議員	山浦 正生	運輸労連 委員長	評議員	高橋 由夫	国際労働財団 専務理事
評議員	江森 孝至※	フード連合 事務局長*	評議員	松田 武彦	翻訳家
評議員	山口 浩一	交通労連 委員長			

*江森評議員は、9月12-13日フード連合大会でフード連合会長に就任

顧問 5名

役職名	氏名	協会経歴	役職名	氏名	協会経歴
顧問	鷺尾 悦也	元 理事長	顧問	草野 忠義	前 理事長
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	高木 剛	前 Rengoアカデミー-校長
顧問	須藤 安三	元 副理事長			

【退任された役員の方々の皆さま(敬称略)】

いままで、大変お世話になりました。

理事	河野 和治 (JAM・前会長)	竹内 法心 (JP労組・前委員長)
	大川 栄八郎 (労金協会・専務理事)	湯浅 義信 (全労済・前常務執行役員)
監事	小柳 正治 (JEC連合・前会長)	
評議員	渡邊 和夫 (フード連合・前会長)	

第7回連合・ILEC 幸せさがし文化展 ー働く仲間とその家族の公募展ー

～入賞者・入賞作品が決定～

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に絵画、写真、書道、俳句、川柳の5部門の公募展として開催しています。第7回文化展は、ILEC設立15周年の記念事業として位置づけ、応募時の年齢が満15歳以下を対象としたILEC15周年特別賞を設けて取り組みました。応募期間中に東日本大震災が起きたことから、急遽、趣旨に「つながろう日本」を掲げ募集しました。その結果、絵画部門では、モンゴルの子どものための震災に対するお見舞いの作品65点を含め175点、写真384点、書道177点、俳句783点、川柳1728点が寄せられました。厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、10月5日の第12回連合定期大会で入賞者を表彰するとともに、同会場ロビーで入賞作品の展示をおこないました。また、10月17日～23日には、NHKみんなの広場ふれあいホールギャラリーで同作品の展示をおこないます。主な入賞作品と入賞者は以下の通りです。

(入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます)

連合大賞・ILEC大賞・ILEC15周年特別賞 入賞者・入賞作品			
絵画の部			
○連合大賞	「明るい未来・・・きっと。」	杉浦 寿宣	京都府
○ILEC大賞	「タワー」	小久保 潤一	千葉県
○ILEC15周年特別賞	「美術室」	井野元 若奈	新潟県
写真の部			
○連合大賞	「お友達」	森川 義正	基幹労連
○ILEC大賞	「幸せのブーケ」	上田 京子	秋田県
○ILEC15周年特別賞	「お父さんやさしく洗ってね」	山中 蓮温	UIゼンセン同盟
書道の部			
○連合大賞	「土」	金城 好去	J E C 連合
○ILEC大賞	「峰高 雲海」	飯野 蒼明	情報労連
○ILEC15周年特別賞	「はと」	森脇 優	山口県
俳句の部			
○連合大賞	「夫婦箸箱に寝かせて十三夜」	阿部 史恵	静岡県
○ILEC大賞	「祝婚へ髪に梯梧の花挿して」	山縣 昭一	茨城県
○ILEC15周年特別賞	「お年玉買えないものも買えそうで」	林 采音	兵庫県
川柳の部			
○連合大賞	「天国をスカイツリーで下見する」	長野 建八郎	情報労連
○ILEC大賞	「空気でも突っ支い棒になり夫婦」	齊藤 由紀子	東京都
○ILEC15周年特別賞	「高い壁一つ乗り越え強くなる」	吉田 亮	大阪府



第12回連合定期大会で表彰を受ける山中蓮温君とおかあさん



NHKみんなの広場ふれあいホールギャラリー展示ポスター



入賞作品と審査員講評を掲載した作品集を発行し、有料頒布しています。(頒布価格：1,000円＋送料80円)

(敬称略)

Rengoアカデミー・第10回マスターコース修了式を開催

～震災対応のなか、26名の受講生が修了論文を作成～

Rengoアカデミー・マスターコースは、連合運動の次代を担うリーダーの育成を目的に、年間とおして、前期6日間、後期はⅠ・Ⅱ合わせて7～8日間の集中合宿を基本に、ゼミごとの必修ゼミ合宿もおこないながら、担当講師の指導のもと修了論文をまとめて1年間で修了するプログラムです。10回までに235名の修了生を輩出し、現在それぞれの立場から連合運動の一翼を担い、活躍しています。

9月15日（木）、総評会館において「第10回マスターコース」修了式を行いました。26名の受講生は、昨年11月の前期合宿と4月の後期Ⅰ合宿の間に発生した東日本大震災の対応にもあたりながら、集中合宿さらには修了論文を作成、提出し、審査を経て、修了式を迎えました。

修了式では、岡部謙治理事長による主催者挨拶の後、古賀申明Rengoアカデミー校長より修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。高木郁朗教務委員長からは「先日イギリスでマスターコース修了生に出会う機会があり、修了生の活躍の場がさらに広がっていることを感じた。みなさんも様々な場で活躍することを期待している」とご挨拶をいただきました。最後に修了生を代表し、電機連合の相原秀輝さんから「マスターコースを修了し培った『知識』と、日々の『実践』、そして仲間同士の『絆』を大切にし、それぞれが今後の連合運動に新たな一步を踏み出していきたい」と謝辞がありました。

修了式とその後の懇談会には、ゼミナールでご指導いただいた先生方や、修了生の出身組織代表者にもご出席いただき、激励の言葉をいただきました。修了生のみなさんの今後のご活躍を期待いたします。また、受講生を送り出していただいた各組織においては、ご協力いただきありがとうございました。



修了式での記念撮影



修了生謝辞
(電機連合・相原秀輝さん)

第10回修了生および修了論文のテーマ

ゼミ	修了生	論文のテーマ	ゼミ	修了生	論文のテーマ
廣瀬ゼミ	連合東京 伊草 正剛	連合東京の広報活動の現状と課題 —若年層が抱える問題に労働組合がどう関わるか—	中村ゼミ	印刷労連 田村 勝也	製造現場における技術伝承の実態と課題
	連合三重 真弓 照美	職場におけるメンタルヘルスの課題 —発想の転換で労働者の「生命（いのち）」を守る—		自動車総連 堀江 智博	離れ行く組合員と組合の現状
	国公連合 渡邊 努	「障害者雇用を通して見た社会的包摂」と労働組合の役割	橋元ゼミ	電機連合 猿田 望	非正規労働者の組織化に向けて —より活力ある労働組合としていくために—
	連合本部 大久保 暁子	地域別最低賃金の水準と決定方法 —将来への展望—		日教組 狩野 卓	労働組合の役割—労働者の連帯をめざす対話の重要性—
	自治労 難波 智	就労と子育てを両立するための保育のあり方—東京都における労働者のニーズにあった保育所の構築をめざして—		電力総連 清水 和志	労働時間管理の重要性と東日本大震災の復興にむけて—労働組合の直面している課題と果たすべき役割—
高木ゼミ	運輸労連 高野 洋	地域活性化に向けた物流の役割 —石川県の運輸産業について—	毛塚ゼミ	J P 労組 中田 正幸	全ての労働者で創造する労働運動 —非正規社員の組織化と運動への参画—
	電機連合 一貫坂 さや子	労働組合における産別共済の役割について		労済労連 矢田 純一	労働組合・協同組合の果たすべき役割について—ワーキングプア問題を中心に—
	情報労連 仁藤 慎也	日本における非正規雇用拡大の現状と対策—変化とどう向き合うか—	自動車総連 象 吉徳	自動車販売スタッフの働き方の変革 —長時間労働を中心に考える—	
	労金協会 滝 康之	男性育児支援の現状と課題—全体で子育てを支える社会を—	中村ゼミ	サービス・流通連合 大磯 扶三彦	企業組織再編時における労働組合の関わり—重要なのは労使の真摯な協議と組合員に対する周知—
	連合本部 片山 銘人	世界同時不況下の各国の雇用対策を検証する—「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて—		フード連合 伊藤 敏行	労働組合と紛争処理—顔の見える労働運動へ—
	UIゼンセン同盟 浅川 淳	労働組合における組織強化—産別組織の取り組みを通じて—		運輸労連 杉山 豊隆	有期雇用労働者の組織化と均等待遇について—活力ある職場環境と人事制度構築にむけて—
	中村ゼミ	電機連合 相原 秀輝	ヘルメット、鉄パイプ、サングラスからのイメージの払拭、そして労働組合の結成まで—ある技術者ハケン会社での組織化事例から—	全労済 関根 新太郎	メンタルヘルスに関わる法制度の現状と現場の課題—メンタルヘルス不調による休業・退職者の減少をめざして—
情報労連 反田 丈裕		会社と組合との狭間で！！—ユニオンリーダーのキャリア形成について—	自動車総連 稲生 光	人事考課賃金制度と労働組合の関わり—当社の事例に見る労働組合に求められる人事考課賃金制度への関与—	

(敬称略)

第11回マスターコースを開講します!

第11回マスターコース（前期）が11月12日（土）よりスタートします。
受講生への温かいご声援とご協力をお願いいたします。

◆日程／場所

前期 2011年11月12日（土）～17日（木）6日間／メロンディアあざみ野
後期Ⅰ 2012年4月14日（土）～17日（火）4日間／晴海グランドホテル
後期Ⅱ 2012年5月9日（水）～11日（金）3日間／メロンディアあざみ野

～聴講生募集は追ってご案内いたします。

第8回「－私の提言『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」 ～入賞提言が決まりました～

第8回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」運営委員会（委員長・岡部謙治(社)教育文化協会理事長）は、9月12日（月）に第2回運営委員会を開催し、応募提言の審査を行いました。当事業は、連合から教育文化協会が受託して取り組んでいるもので、8回目を迎えた今回は「論文」募集ではなく「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた「提言」の募集を行いました。

3. 11 東日本大震災の影響が心配される中、大学生7名からの応募を含め20編の提言が寄せられました。

審査の結果、「優秀賞」1編、「佳作賞」3編、「奨励賞」2編の入賞提言を決定しました。「優秀賞」を受賞された石田英樹さんには、第12回連合定期大会において表彰を行うとともに、提言の要旨を発表していただきました。

石田さんからは、ご自身が組合役員になる前に感じていた労働組合に対する印象や自らの組合役員としての活動経験を踏まえ、全ての組合員と一体となった活動を展開するために、時代の変化に対応した組合（役）員への教育の重要性が熱く訴え掛けられました。

教育文化協会では、入賞提言6編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しております。力作揃いの提言を是非ともご一読ください。（入賞提言は、ILECホームページでご覧いただけます）

<入賞者一覧>

賞	氏名	所属	提言名
優秀賞	石田 英樹	フード連合 明治乳業労働組合 専従中央執行委員	－働くことを軸とする安心社会－全ての従業員（働く仲間）と一体となる組織活動を目指して
佳作賞	太田 武二	労供労連 事務局次長	非正規・有期雇用問題の抜本的解決に向けて！外部労働市場における労働者供給事業の主導権確立を！
	橋本 壽子	基幹労連 ダイクレ労働組合連合会 会計部長	「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて…私の思い…
	原 均	年金受給者団体職員	高齢者労働運動をすすめよう
奨励賞	貫名真由子	國學院大學卒業生	不安定な労働力を支える仕組みを求めて～眠っている貴重な労働力を活かし、1人でも多くの人が働ける社会の実現を目指して～
	盛本 理紗	一橋大学社会学部2年生 連合寄付講座受講生	労働組合の組織拡大に向けて

（敬称略）



第12回連合定期大会で表彰を受ける石田英樹さん



力強く提言要旨を発表

2011年度後期 埼玉大学 連合寄付講座「働くということと労働組合」開講しました

10月3日（月）より、埼玉大学で連合寄付講座を開講しています。聴講ご希望の方は、ILECホームページで申し込みできます。（<http://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/saitama/index.html>）



第1回(10/3)の講義風景



岡部理事長と担当の禹教授

プログラム内容

日程	講義テーマ	スピーカー
10/3	【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 【課題提起】なぜ、労働組合が必要か？—労働組合がめざす社会像とは	岡部謙治（社）教育文化協会理事長
10/17	働くということと労働組合 —私たちは歴史から何を学ぶか	高木郁朗（社）教育文化協会理事
10/24	今、働く場で何が起きているのか —労働相談からみた職場の現状	田島恵一 連合中央アドバイザー
10/31	職場・地域の現状とその対応① ワークルール・労働協約で働きやすい職場をつくる —ワーク・ライフ・バランスの取り組みを例として	福田明子 田辺三菱製薬労働組合中央執行副委員長
11/7	職場・地域の現状とその対応② 公正な賃金と処遇にむけて	須田 孝 連合総合労働局長
11/14	職場・地域の現状とその対応③ 長時間労働の是正	宇田珠美 情報労連中央執行委員
11/21	職場・地域の現状とその対応④ 非正規労働者の組合加入と処遇改善	秋山庸子 西友労働組合中央書記長
11/28	職場・地域の現状とその対応⑤ 男女が働きやすい職場づくり —パワハラ・セクハラへの対応	横山 薫 連合埼玉女性委員会委員長
12/5	職場・地域の現状とその対応⑥ 労働組合をつくる	相原秀輝 電機連合アルプス技研労働組合委員長 吉野敦子 連合ユニオン東京NJKユニオン執行委員長 進行：水谷雄二 連合副事務局長
12/12	職場・地域の現状とその対応⑦ 労働組合と地域との関わり	佐藤道明 連合埼玉事務局長
12/19	政策立案・政策実現の取り組み① 雇用の安定化をはかる —労働法制への対応を例として	杉山豊治 連合雇用法制対策局長
12/26	政策立案・政策実現の取り組み② 最低賃金引き上げで格差是正、底上げにつなげる	勝尾文三 前連合労働条件局長
1/16	政策立案・政策実現の取り組み③ すべての労働者が安心して働き、暮らせるセーフティネット	小島 茂 連合総研主幹研究員（前連合総合政策局長）
1/23	教員まとめ	教員
1/30	【修了講義】 「働くということと労働組合」	古賀伸明 連合会長 進行：教員

～ 専門講座 これからの開催予定 ～

各講座の開催につきましては、詳細が決まり次第、アットマークれんごうおよびILECホームページを通じてご案内しています。多数のご参加をお待ちしています。

日 程	講 座 名	場 所
2011年12月2日(金)～3日(土)	※第15期女性リーダー養成講座基礎コース	仙台
2012年1月20日(金)～21日(土)	※第15期女性リーダー養成講座基礎コース	福岡
2012年5月25日(金)～26日(土)	第15期女性リーダー養成講座応用コース	東京

※印は、募集中（仙台開催は11月22日締切り、福岡開催は1月10日締切り）、ILECホームページからも申し込めます。

ILECメールマガジンの配信について

10月から、教育文化協会の事業を広く知っていただくために、メールマガジンを配信することとなりました。

配信内容は、主催事業の告知と協賛事業等の案内、各種専門講座の募集、「書評」、「私の提言（提言集掲載分）」、マスターコース修了論文集やマスターコース講義録の発行のお知らせ、連合新書等の書籍発行のお知らせ、連合寄付講座聴講生募集、連合寄付講座講義録掲載のお知らせ等です。

教育文化協会のホームページより、メールアドレスが登録できますので、是非ご登録下さい。

URL:<http://www.rengo-ilec.or.jp/mailmag/index.html>

一事務局より 退任・着任者からのごあいさつ

○労働界でも重要なテーマとなっている労働教育を事業としている教育文化協会です。3年間お世話になり、感謝いたします。労働教育事業にくわえ、文化事業、出版事業もたいへん魅力があり、労働界、ひいては社会のためにも、教育文化協会がますます発展することを祈っております。
(瀧澤正夫ディレクター…生保労連へ復帰)

○9月1日付で着任し、右も左もわからないままに時が過ぎているのが実態です。教育文化協会の活動を通じ、出身産別では経験出来ない様々な事業に微力ながら携わらせて頂くことで、組織とともに自分自身の成長にも繋げていければとの思いで頑張りますので、関係者のみなさま方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
(小島光明ディレクター…生保労連より派遣)

編集後記

ILECは、9月8日に第17回総会を開催し、2011年度の新役員、事業計画、予算等を決定しました。今回のILEC通信は、総会の内容をはじめ、2012年6月までの教育、文化、出版・広報の各事業についてほぼ網羅的に紹介いたしました。どうぞご覧下さい。

事務局体制も少し変わりました。これまで、ご活躍いただきました瀧澤正夫さんが8月31日付けで生保労連に戻られました。後任として9月1日付けで生保労連から小島光明さんが来られました。あわせて、10月から片岡千鶴子さんに事務局のお手伝いをしていただくことになりました。(富士山)

この印刷物は再生紙を使用しています。